



○ たこ紹介

「他己」です。「蛸」ではありません。

1年生「レクリエーション活動援助法」の授業でした。自己紹介ではなく、ペアになり相手の情報を聞いて、本人の代わりに紹介するという方法です。そのあと輪になった同級生からの質疑応答という形で進んでいきました。この方法のほうが、自己紹介以上にその人のことが浮き彫りになりますね。残念だったのは私が参加したのが後半だったことです。半数以上の人たちのものが済んでいました。

紹介の項目の中には「好きな色」というのがよく出てきます。一般的に多いのは水色（ブルー）やピンク、みどり色でしょうか？私の好きな色は緑です。詳しく説明するならば濃いグリーンではなく、若葉の色です。絵具でいえば「きみどり」ですね。日本語には命名が美しいものが多いです。「きみどり」の中にもたくさん色名があります。萌黄・萌木・萌葱（皆「もえぎ」と読みます。）…前者2つはよく似ています。後者1つはちょっと濃いめですね。私が好きなのは「萌木」というところです。なので、今の若葉の季節は大好きです。皆さん、この5月の連休前後には中国自動車道の六日市～山口間を走ってみませんか？素晴らしい若葉が迎えてくれますよ。この区間は特に交通量も少なく走りやすいです。時間帯は午前中、太陽を背にして西に走るのがお勧めです。（しかし、くれぐれも見とれ過ぎないように注意！）

他己紹介の質疑応答では、聞きたいけれど遠慮しているという学生がいます。その時には山本先生が上手に質問していました。間（タイミング）のとり方が上手ですね。スムーズに進んでいきました。



同じ日に「ビジネスマナーⅡ」を受講している IT ビジネスの教室から、和やかな会話が聞こえてきたので覗いてみました。カードを一人一枚ずつ開いて出てきた「接続語」にそって順番に一つの話を作り上げていくという活動でした。出てくることばは「だから・それで・しかし・要するに・例えば・でも・・・」とたくさんあります。引いた学生は一瞬困りますが、ユニークな発想が出てきたりして、楽しい物語が創られていきます。やはり若いということは頭が柔軟だなと感じました。

この活動はコミュニケーション能力のトレーニングにも役立つようです。発想を他者に伝えることばの力、理解してもらうための音量や明晰さが大切になってきます。「ビジネスマナー」と表記されると堅がるしいイメージが浮かんできますが、このような活動は楽しく学べて鍛えられるという素晴らしいものだと思います。

昔、「男は黙って〇〇ビール！」というコマーシャルがありました。（分かる人は何%でしょうか？）三船敏郎さんが演じていました。日本人は控えめが美德というところもありますが、グローバル化社会の中、適度なコミュニケーション（伝達・主張・交流・・・）能力は必要ですね。

IT ビジネス科の学生たちは暗い（失礼！）かなという先入観が少しだけありましたが、ずいぶん明るくユニークな面もたくさんもっていますね。

自校自賛

上記の授業紹介にかえます。



あとの3人は歓迎会で紹介したので省略